忠孝子伝 中

畫本国見山巻中国絵

一脇国　せだつーまの人世西へ来りてころぶとさいまんてきをみくにこと有り

小人国　全部みな人びるふるるよりて有も百貫も皆紙作りなり

蒲耳国　わろといるる木あり此木の露かんろとなりて出る所

大食国斬離　あらくハ多のうちまくのふ

馬孫国　ごやうをする所

坂口文庫
慶應義塾大学図書館
2015.2.19

穿胸國

ものあるようなりてうし
ろへとおり穿のよ形

羽民國

ゆりてい人ゆるまてうちいるの
ごくるる国人の形

擔波国

擬三蛮国

婆羅遮

たとさるとのゆりてとうづき
ぶ形

未利國

ありーなひとつまくるん
ぎよをあむ形

長脚国

長仕記国

一脚國　山東九人一目一孔一手一足皆如此雖なれハ二人ありてむきれハ初事
あるこゝに○三人連もあるく入人組もの〳〵ふとおもうるけ人うね合鳥帽子の
羅紗形ふるまうーー人ひとりはたとてもするふわるとを互に位るるあるの
あり靡といふけごりの翌くきなる形者よりを偖たとへもせ三
の交りみるれのあるよすることをいふなり

常利國　山西名匠をおし仙西ふ至なぐく来らづりき西なりり羊を
考て熟まふ考ひて日あるとく〇足なぐき考さ紀の尾乃みづらかのらど紀
考こそさのどくなれ彼十二時の巫びいの出もみづら考れ濁みて流るり出なハ
霖のふとおきるる牛羊屬ハ霖まいておーるる霖ふ祢まいのけん今ど出来て
をでふき考どあらされーこと

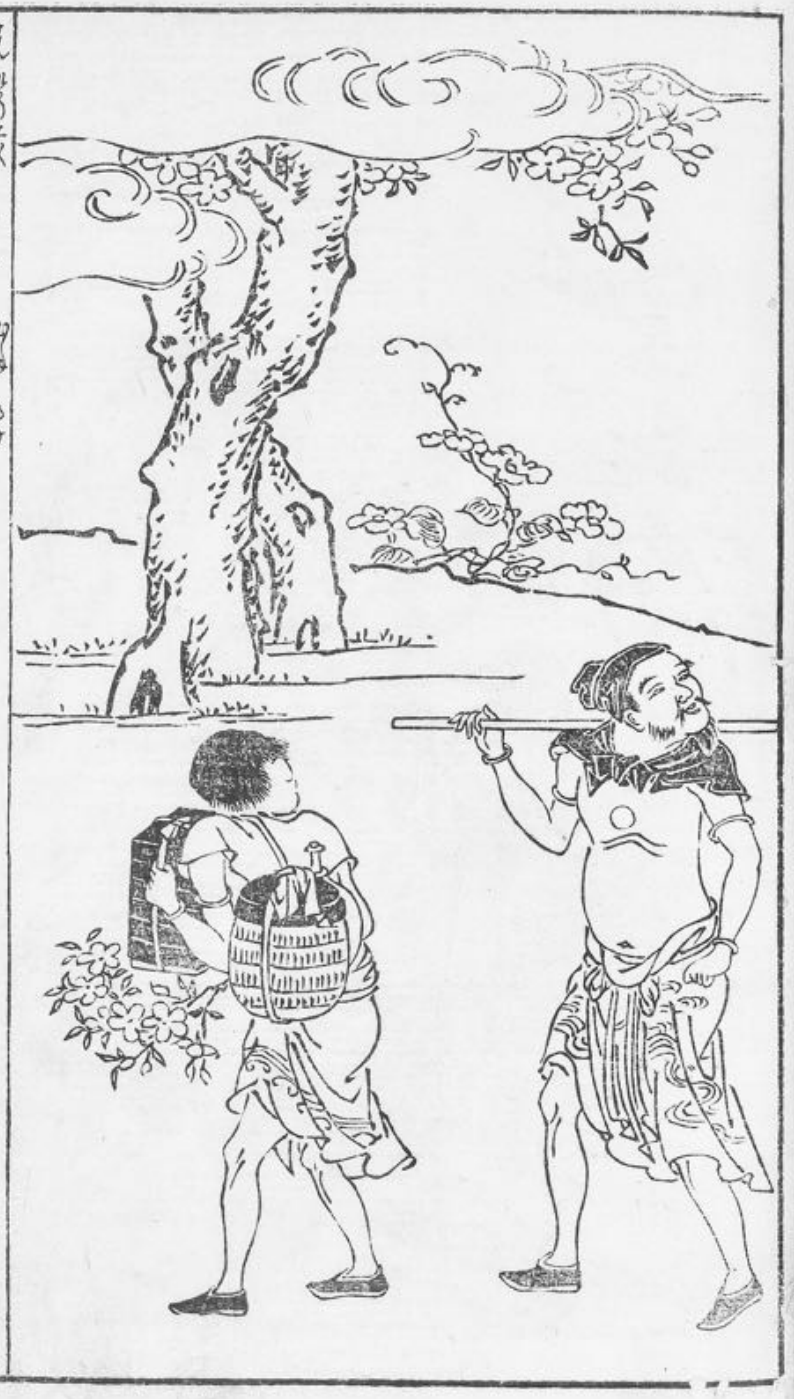
小人国　人のたりさ弐尺ばかり古堀よ麻多一人皆麻小のる事れど沉名あて人を
えるる小人つまよしを名とたくふ毛ゝ名のたまごをられど打ぶりてゝたまをとゝ
○長人国の人ちゝよ来りてたまゝ乃ゝ舌ゝ来れい小人あつまりて舌かをもりてこれを
ひゝを来ゝりをえてこれをおこうとゝ、くゝ力ハをとゝろんざりそゝりをせるもの
西国を一国の中ゝ収めゝ画立の背稽ろう

其國
諸ゝ元玉と玉王金のかんむりをいだ紀金銀をちりばめてゑがきつくり
鬼皆赤羽を上ち百〇金銀赤山なる玉あてよろつの器ゝ金銀あてつくる
金れ諸銀の釜金の杓子銀の食ーざ金れ赤もと銀の小蠟もあくよーモろれ
各羽るのり合羽は玉の器ゝ蓋ゝ
洞の老人金の女房行ゆふゝわり金ゞ銀ゝ銀人新て金銀の人ハ九ふり

大食河斯離山上ハ樹みつうゑのこなり一樹上よりおけるもの日あれハ刈砂糖のごとくなる実の味あり

蒲萄と号づくこれ菓多くなりすぐれ食せぶれ共もうるゐ〇さりとて記事文字なくてさとれハ大食なるものはこれをとるすなわちふるうへ一部よたれのつよこんるゝ

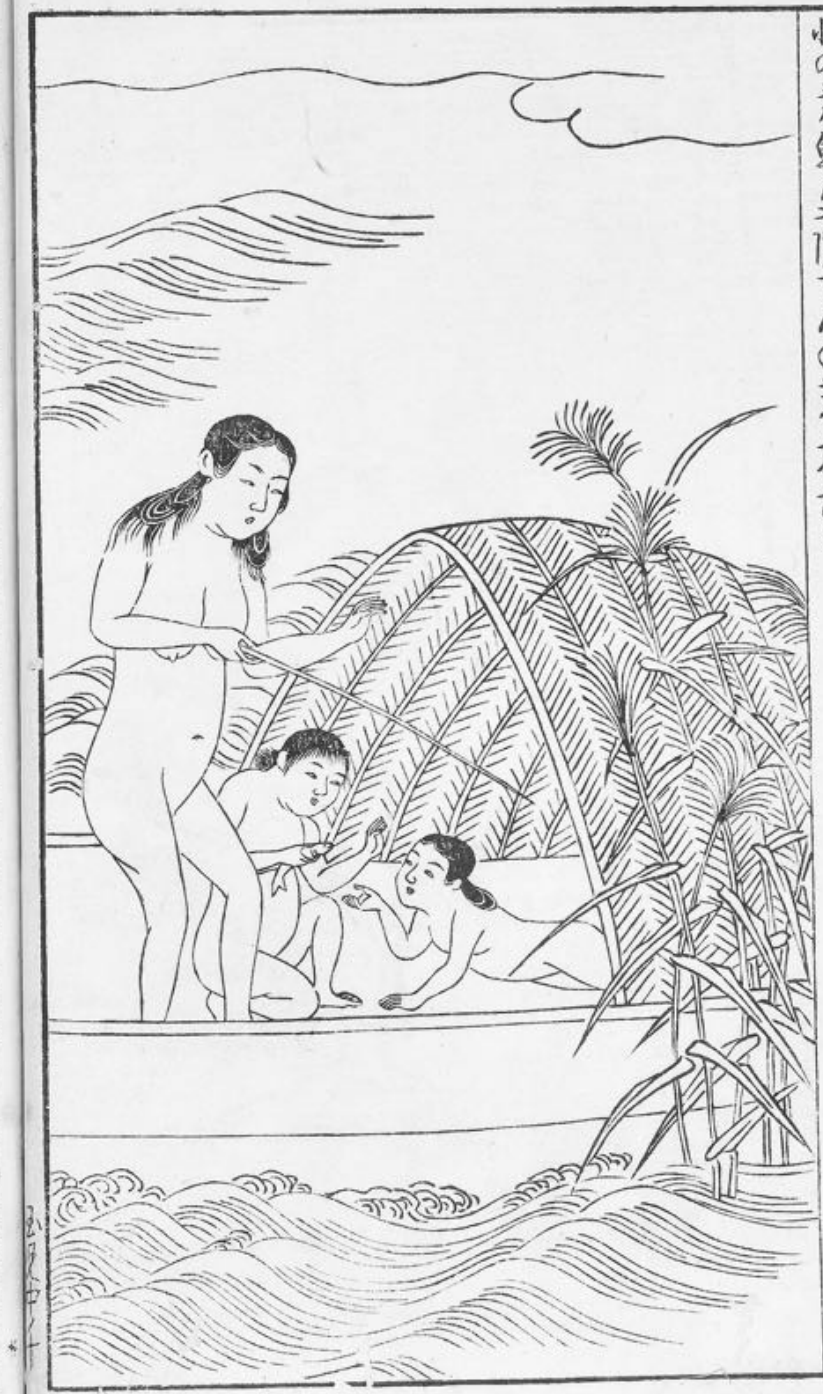
引き連れ四郎はまの人三九郎ホーて生れかゝ身よりなぐ紀毛あり○むり飲れ世よ
出まつ爲孫まへおて居るあり何ごろ三ツゆびの虫へ嫁入するあ
お氣のきてまざりしもおとろりくて居るぞぐをなぐさめんとて琵琶乃曲を
弾り乃樂はせ一を後の世亟脇敦曇よ亟くハ濁りことゑ雜組まれと
報ぜり河人もるき系図拍ろうあれども



穿腦圖　玉人皆往よりあり位るき人ハかの宮小林をさーていつ一紀七の品を
樂あるくとあり○懷中もべをさらとのをは宮よ入れバそる紙ふくろハまそうり
色どる女ハけ宮よ後を志ことてりぐ〜俵のかーりとー む孫のかぐとのふくされと
楚ハ惡まる男ハけ宮よ番炉と入て分をくゆ〜せむねのほむりハ日よふぐびと
ロ、ハ、ンとうや

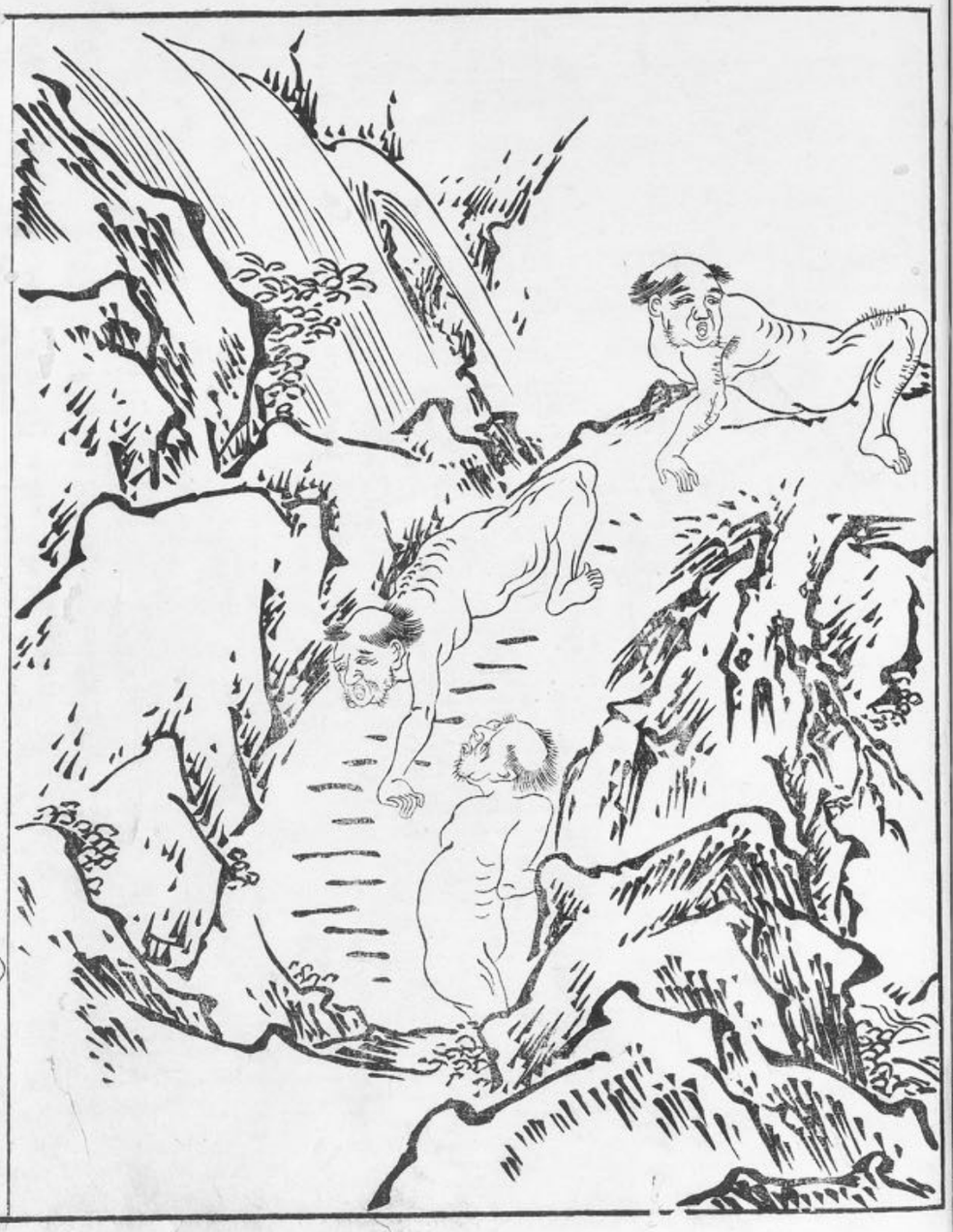
羽根翼人にてあれつゞきあり能そぶをもぢるみかさこそうむ
し國の西少よ比翼鳥のほあり[illegible]
いあり元時にあ[illegible]おちびてあ[illegible]山海經の説ときろ考へし
○あ[illegible]もめ[illegible]ハ[illegible]る[illegible]
[illegible]面[illegible]もみやと思ふ

擔波國　天氣つよく熱くして地みな一面なる獅子あり○いまの人
はまよりも紀大山ハ獅子王をもてはなはだ人身を害をなすもの一ぱい人
ざれば獅子王而持もるところ七宝の鈴二つあり一あれをもて向ふてふれば
たちまち失惚をふくしてをのよ獨す孫行者とゝもの来りておまをもろぼす
は獅子ハ文殊の乘る所三つの鈴ハむかしの鐃ゝと西遊記のまゝなり



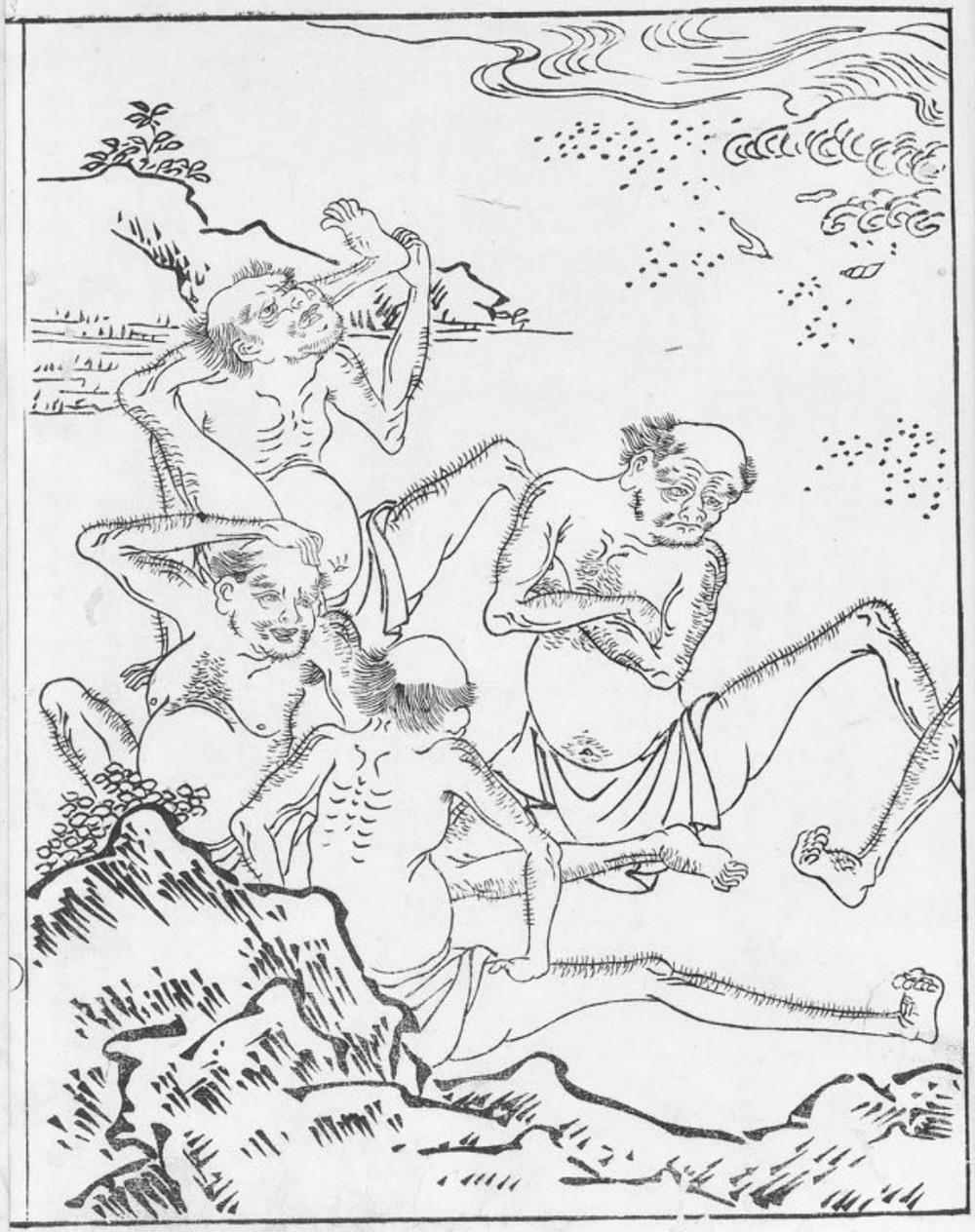
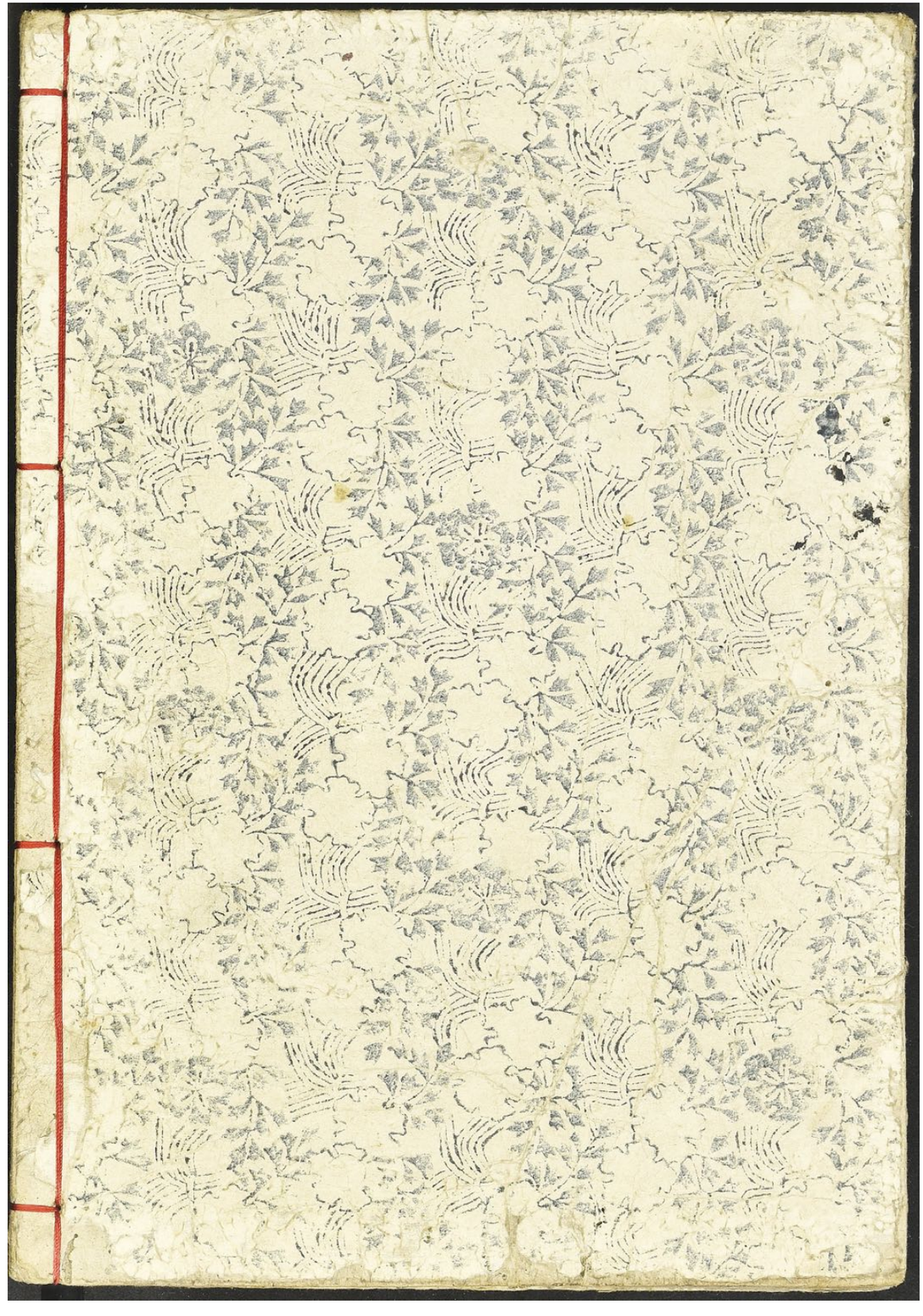
蛭三郎國はしまをかいてあとゝ拾てまづ一夜なり臭と
ゑて八島に書るかたちをゑがゝせ先ふそで掛るとゝ有り○はしまに住宅犢鼻褌
さへなき紀ハうゝく地獄をゑがゝ一司馬わぬが獄ゑる時ゞよ四苦と犢鼻
褌ハ五ゝ地ふんど〻陸仰の卑文ちゝ見霊国ゑがゝ入りはちハわぬの
小の方卑文隠でんの菩提ゑ

樂舞遍　しき島男女ともに大のうらといふ紀猿の面をかけ日和舞あそぶ
を為せ波とそたのそろ中ゑよつくりてもちにしき島の男童女○今れ時言
ふもろくべけ猿より日夜舞あそぶるやを也れ保りハさろ波大と猿との
面をいりて掛るハ中ワるくせまんきあのいきめるくん猿舞大きひ
の二つを為蔵ふ也ゑらーとそふ新波のをぐくもかくくて



果利國　一名一寸法師より西辺より彼岸○をのく品も西よりてかるまりなるはのちーおくハあづまれびつこおしたの海ゐりふとさん何ぞをとびつこしてこうるへしさし国のあるそも同しーうんし国よりあるる諸あり或を祝ゐる人礼札よ誘卯系とあるとうんてケれの人ハえへるりと僧ふ（ハえるりと誘柳原さ面りおあ人とよ絵くんていふもず作ハ鼻まるれてあるこ

長脚國 けものの人を長脚とまうす近ごろ獅子のの人を長脚の人と屬して
海より入奥をゑらんでちかよりとく○いつの比まわ長脚の町人れ家よりまうすとて
二さくの布蕉をもつて縮布をおりて織出せるおとも男づけうつてをもて
をゆまおとりうる色ものを長脚の獅子一双をぬいあらせてをもたてを紀之国
屋よりてあるいとうやあるを拾ろうるさるう



多伏部圖　けまむしは大なるやうに山神孔雀に化して地を啄て泉と出る人皆これをのゝて苦いるゝこと○孔雀は毒鳥といふ人あり其象やまひを治せしは毒草をくらうとあるものゝけまむしを名香を好み常に香爐の中に住て人に対面し名香を焚ふ或は紀合帰して苦りしに臭き放屁の多く出しは名香をもらはしかりし御小塔の細布も時なるべし